



学校通信

夕陽丘 第42号



【第43回 夕陽丘・天王寺 親善スポーツ大会】

第43回親善スポーツ大会は天王寺高校主催で開会式が行われ、その後、熱戦が繰り広げられた。最近では負けが続いていた女子バレーボール部、男女硬式テニス部が勝利し、総合得点において現時点では本校がわずかにリードしている。ここ数年、総合優勝に縁のなかった本校にとって今年の各クラブの頑張りは目を見張るものがある。これもひとえに部員、マネージャー、顧問の先生方の惜しめない努力、苦勞のたまものだろう。

世代が変わっても、「天高戦」に対する思い入れの深さは変わらない。「天高戦」となると夕陽生は燃える。一般生徒もOBも応援に駆けつけてくれる。この大会を通じてとりわけ感じたことは、夕陽丘の絆の強さである。天高開催にもかかわらず、一般生徒の応援は天高生より遙かに多く、出場生徒の保護者のみならずPTA役員・委員、教職員の方々も多数応援に来て頂いた。All夕陽の団結力に心地よさを覚えた1日だった。

たとえ試合では負けたとしても夕陽生が何かを吸収できれば「天高戦」には勝ち負け以上の価値があるだろう。天高生の持つ集中力、文武両道を真摯に実践する姿を大いに見習い、夕陽生も自分の持っている能力を文武両面で開花させて欲しい。

この大会が末永く続くことを願っている。



今までとても弱くて試合にも負けてばかりだったけど、あきらめずに練習したおかげで高校生活最後の試合であった「天高戦」、接戦でしたが初めて勝つことができました。努力は報われるものだとあらためて実感しました。

ここまで指導して下さいました先生、しっかりとついてきてくれたチームメート、後輩達に感謝です。応援してくれたみんなありがとう。青春最高!!!

女子バレーボール部前主将 大上瑞姫

発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町 10-10 大阪府立夕陽丘高等学校

TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267 E-mail: z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp

ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka> (題字 森 敏行先生)

【国際交流委員会】

☆かんじんなことは目に見えない☆

【6月の活動報告】

※6月4日（木）7時間目 「国際交流講演会」

外務省の岸守一さんを講師としてお招きして、1年生を対象に講演会を開きました。

「国際社会を理解するための“まなざし”」というタイトルで国際交流の初めの一歩となるお話をしてくださいました。

（講演会詳細については、本校HP・本日発行の「国際交流新聞」をご覧ください）

1年生のみなさんの感想文には、「かんじんなことは目に見えない」という言葉がいちばん印象

的だったと書いてあるものが数多くありました。読んだことがある人もいると思いますが、これはフ

ランスの作家サン＝テグジュペリの『星の王子さま』の有名な一節ですね。

異なる文化圏で育った人とのコミュニケーションはもちろん、夕陽丘で共通の時間をたくさん過

※6月11日（木）放課後 「留学生 学習発表会」

帰国を控えている留学生たちの「学習発表会」を行いました。

昨年の9月に来日したときと比べて、日本語も格段に上達しており、彼らの努力の賜物だと思えます。

それぞれの国に帰っても、日本で学んだこと、経験したことを生かして、大きく成長してくれることを期待しています。



【音楽科より】

♪感動！特別公開講座「テノールの魅力」～福井 敬さんをお招きして～

去る7月9日（木）に特別公開講座が開かれました。今回のゲストは日本を代表するテノール歌手の福井敬さんとピアニストの今岡淑子さんです。声楽家を目指そうと心に決めたエピソードなど、お話を交えながら歌われる歌《悲しくなったときは》や、フィギュアスケートでも有名なプッチーニ作曲オペラ『トゥーランドット』より“誰も寝てはならぬ”など、イタリアの唱法ベル・カントの素晴らしさを余すことなく披露してくださいました。

♪あなたもピアニスト～小学生のためのピアノ発表会～

7月25日（土）と、8月15日（土）13：30開演～に、公募で集まった小学生のピアノ発表会があります。※8/15には小学生のゲストによるヴァイオリン演奏があります。

★ヴィオーラホールでの特別公開講座や演奏会は在校生・保護者の方はいつでもお越しいただけます。ぜひ、皆様のご来場をお待ちしています★

♪今後の予定

9月4日（金）・5日（土）ピッコロコンチェルティスタ（学内演奏会）

9月20日（日）14：00 音楽科定期演奏会 NHK大阪ホール※入場整理券が必要

【保健部】より

「梅雨時の頭痛対策を万全に！！」

夏休みを前に、今年度4月からの来室統計から振り返ってみたい。

表1に挙げた人数は、4月から7月8日までの頭痛およびめまいによる来室者数である。

例年、本校の内科的来室者の症状の一番に挙げられるのが頭痛である。（昨年度は288人）頭痛だけの訴えもあるが、その多くはめまいや吐き気を伴うことが多い。保健室では、室内を暗くして音と光の刺激を少なくし頭を冷やすことで改善する場合が多い。頭痛の原因には、インフルエンザ・風邪等の感染症に伴うものが多いが、中には肩こりからくるものもある。テストや行事で忙しいと身体も疲れる上にストレスがかかり「緊張型頭痛」を起こしやすい。緊張型頭痛の場合は入浴、体操などで血行が良くなると痛みは軽減するのが特徴である。

6月から雨天の日が多いが、気圧の変動に影響されるのが「片頭痛」である。頭を振って痛みが増徴するなら「片頭痛」を疑う。また、市販の鎮痛薬は効かないことが多く、受診すると特効薬が処方される。片頭痛は前兆として目の症状（視界の中心辺りにチカチカと輝く光やキラキラとした稲妻のような光が現れ、目の前が見えづらくなるという閃輝暗点（せんきあんてん）と呼ばれるものや匂い・光に敏感になるという場合がある。女子の月経時に伴うのも片頭痛である。片頭痛は睡眠不足が引き金になる場合があるが、逆に休日のリラックスタイムに起こる場合もある。平日の疲れを休日に持ち越すことの無いように、休日いつもの生活リズムで過ごしたいものである。

表1 頭痛およびめまいによる来室者数 （単位：人数）

	1年	2年	3年
男子	6	9	9
女子	11	15	45

【教務部】より

自分で考える

教務主任 岩元 健

何か物事を成功させるには、才能が大事、知識も大事。しかし、新たな道を切り開くためになくしてはならないもの、それはやる気、強い熱意です。たとえ最初は上手くいかず失敗しても、熱い思いが、やり遂げる・進み続ける力を生み、やがて成功へと導きます。そういう熱い思いを強く持てるようになるには、若い時に何か自分の好きな事、興味ある事に懸命に打ち込む経験をしておくことが大切です。高校生の君たちにとっては、部活であったり、自分の趣味であったりするでしょう。是非、中途半端に妥協せず打ち込む経験をしてください。でも、情熱だけで何もかも上手くいくとは限りません。成し遂げるためには、熱意プラス創意工夫する力が必要となります。日々学校で勉強していることは、記憶すること知識を身に付けることが多く、それが得意な人が成績良く、「かしこい」と思われています。ところが、本当に生きていく上で必要となるのは、知識を如何に上手く身に付けるかではなくて、その知識を如何に生かすか、新たな問題に遭遇した時自分の頭で考えてどう解決していくか。それが創意工夫する力です。勉強で身に付けた知識だけでなく、実体験による苦労や友人関係・人間関係による悩み、苦しみ、喜び、感動など様々な経験が、その力を育ててくれるでしょう。

夏休みという授業のない期間は、まさに自分のやりたい事に懸命に打ち込むことができる時でもあり、たくさんの本を読むことができる時でもあり、新たな事にチャレンジできる時でもあります。色々な意味で自分を磨き情熱をもって努力する人間に成長できる機会にしてください。

努力して、結果が出ると自信になります。
努力せず、結果が出ると傲りになります。
努力せず、結果も出ないと後悔が残ります。
努力したとえ結果が出なくても、経験が残ります。
努力は決して嘘をつかない。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 今後の予定 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

7月

17日(金) 通常授業(予定)
21日(火)～ 夏期講習
3年 補充授業(午前)
懇談週間

8月

18日(火)～3年生補充授業(午前)
19日(水) 学校見学会
20日(木) 全校集会(放送) 3年授業
1・2年学力診断テスト
21日(金)～ 授業(午後カット)

【編集後記】

胸ときめかせて新年度を迎え、もう夏休みに突入することとなった。4月からは入学式、体育祭、国際交流、天高戦等々と行事が目白押し、生徒諸君の活躍には素晴らしいものがあつた。中でも6月20日(日)の学校説明会は盛況で、多くの生徒諸君がボランティアで学校案内役をかって出てくれた。この場を借りて協力してくれた諸君にはお礼申し上げる。

暑い夏を迎える。受験生にとって夏は天王山である。3年生に限ったことではないが、くれぐれも体調を崩さず、部活に勉学に励み、開けて8月下旬、一回り成長した姿が見られることを楽しみにしている。